

帰国レポート

名前：	石川 洋平
所属：	名古屋工業大学大学院 工学研究科 未来材料創成工学専攻 1年
派遣先：	ENSCI
研究テーマ：	Limoges-NIT Joint Summer Schoolでの発表及び研究室訪問
派遣期間：	22年 9月7日 ～ 22年 9月12日
本学側指導教員：	早川知克 准教授
派遣先側指導教員：	Philippe Thomas 先生、David Smith 先生

具体的な研究内容：

<目的：実用的意義、問題点を含めて>

- ・ Limoges-NIT Joint Summer Schoolにて英語での研究発表を行うこと。
- ・ 海外の研究者の発表や議論の場に参加することで国際学会等に生かせる経験を積むこと。
- ・ 各研究グループの研究室及び研究施設を訪問し、現地の研究様式を見学すること。

<結果・成果：簡単に>

Limoges-NIT Joint Summer Schoolへの参加では活発な議論を体験でき、現地の研究者の方々の最新の研究について知見を広めることができた。また先方が企画してくださった歓・送迎会では、研究の内容に限らず、料理や文化など様々なこと話題についてもコミュニケーションを図り交流を深めることができた。研究施設の見学では、規模の大きな研究施設内(残念ながら、一部建設中ではあったが)を隅々まで見学することができた。各測定装置に専門のオペレーターが付いており、これが活発な研究活動を支えている要因の一つであると思われた。

派遣先研究室に関して（担当教授・構成人数・研究活動スタイル）：

担当教授：Philippe Thomas 先生

構成人数：学生4名、常任研究員4名

研究活動スタイル：X線構造解析を主体とした研究室で、セラミックスの光学応用についても研究を行っている。

参加したワークショップ・セミナー等について：

- ・ Limoges-NIT Joint Summer School
(NIT 6名、SPCTS 4名、GEMH 3名でプレゼン発表、質疑応答を行った。)

今後の抱負：

- ・ 積極的に英語での議論・コミュニケーションに取り組む

今後派遣される研究者へのアドバイス・メッセージ：

- ・ 積極的に議論・コミュニケーションに取り組むことを心がけてください。



写真1 昼食休憩 Limoges-NIT Joint Summer School にて



写真2 集合写真 Limoges-NIT Joint Summer School を終えて